

令和2年度  
「学生支援」、「学生の受入」、「施設及び設備」に関する  
自己点検・評価報告書

令和3年6月



国立大学法人  
山形大学



# 自己点検・評価の概要

## 自己点検・評価の趣旨

- ・本学が掲げる使命、理念、目標、各種方針を実現するため、教育研究活動等について継続的に点検・評価を行い、改善・向上に努めることを通じて、本学の教育研究等の質を保証し本学に対する社会的信頼をより一層確実なものとするを目的として、平成31年3月に「国立大学法人山形大学における内部質保証に関する規程」を整備したところである。
- ・このたび、上記規程第3条に基づき、令和2年度の「学生支援」「学生の受入」「施設及び設備」に関する自己点検・評価を行ったので、その結果を公表するものである。

## 評価を行った領域

学生支援、学生の受入、施設及び設備

## 評価の方法

各領域を担当する委員会及び部局において活動状況等を点検し、評価を行った。

## 根拠規程

- ・国立大学法人山形大学における内部質保証に関する規程
- ・内部質保証を推進するための指針
- ・山形大学学生委員会規程
- ・山形大学入学試験委員会規程
- ・山形大学における施設等の有効活用に関する規程

# 点検・評価の結果

## 学生支援

### <点検項目>

- 教務(学生の休学、退学等の身分を含む)に関する事項
- 学生の福利・厚生補導、学生寮、体育施設・課外活動施設に関する事項
- 学生の課外活動に関する事項
- 授業料等の免除に関する事項
- 学生の就職に関する事項

### <評価結果の総括>

概ね適切又は適切に実施されている。

### <優れた点>

- 学生の相談体制、経済的支援、施設整備など学生生活を充実するために必要な体制構築や予算の確保を行い、対策を行っている。
- 体育施設等の整備やサークルを適切に運営するための研修会の実施など課外活動への支援ができています。
- 予算の範囲内で多くの学生への経済的支援が行うことができています。
- 地域に人材が定着できるように地域企業との連携強化、合同企業説明会の開催、インターンシップの充実を継続する。

# 点検・評価の結果

## 学生の受入

### <点検項目>

- 求める学生像が明確に定められているか。
- 入学者選抜の基本方針が明確に定められているか。
- 入学者選抜が適切かつ公正に実施されているか。
- 適正な選抜を行う上での十分な志願者数を確保しているか。
- 入学者数は適正か。
- 入学者の構成はアドミッション・ポリシー(AP)に適合したものになっているか。
- 留学生、社会人、編入学者(該当するものが対象)の数や質は適切か。
- 入学後の学修成果に基づいて入学者選抜の検証を行い、改善を図っているか。

### <評価結果の総括>

概ね適切に実施されている。

### <優れた点>

- 求める学生像が明確に定められている。
- 入学選抜の基本方針が明確に定められている。
- 留学生、社会人、編入学者の数や質は適切である。

### <改善を要する点>

- 一部の研究科において十分な志願者数を確保できておらず、広報活動の強化や試験実施日の見直し等が必要。
- 試験問題の校正作業に一部手戻りが発生したケースがあり、作業手順等の改善が必要。

# 点検・評価の結果

## 施設

### <点検項目>

- 施設における安全性に関すること
- 自主的学修環境の整備について

### <評価結果の総括>

概ね適切に実施されている。

### <優れた点>

- 教育研究施設の耐震化について100%を達成している。
- 施設の老朽化への対応として、各キャンパスにて維持管理を実施しているほか、施設整備費補助金及び施設  
営繕費(学内予算)での整備について要求方針に基づき優先付けを行い、順次対応している。
- 安全面への対応として、屋外の危険箇所について、毎年度継続的な改善を行っている。
- 法令上における管理運営について、建築基準法、消防法に基づく定期的な点検を実施している。
- 各キャンパスにアクティブラーニングスペース、多目的スペース等が設置されており、学生の主体的な学びを促進する環境、授業外学習を促進する環境が整備されている。

# 点検・評価の結果

## 設備

### <点検項目>

- 教育プログラムを実施する上で必要な設備を整備していること
- 設備における安全性について、配慮していること

### <評価結果の総括>

適切に実施されている。

### <優れた点>

- 資産管理台帳から保有資産情報を点検し、設備整備を実施している。
- 必要な新設設備は教育プログラムを踏まえて各部局で検討し、整備計画で優先させている。
- 設備の老朽化・陳腐化に対して、設備計画を立案して順次更新を行っている。
- 老朽化への対応として、各キャンパスでメンテナンスを実施しながら長寿命化・安全性に配慮している。